

令和5年度 第2回 健康横浜21推進会議 議事録	
日 時	令和5年11月28日（火）18時30分～20時30分
開催場所	横浜市役所 みなと1・2・3会議室
出席者	健康横浜21推進会議 委員 16人
欠席者	健康横浜21推進会議 委員 4人
開催形態	公開（傍聴者0人）
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）第3期健康横浜21素案に係るパブリックコメントの結果概要について</p> <p>（2）第3期健康横浜21素案から原案への主な変更点について</p> <p>（3）健康横浜21のロゴマーク及びキャッチフレーズについて</p> <p>4 報告事項</p> <p>（1）令和5年度食環境づくりに関する取組について</p> <p>（2）令和5年度歯と口の健康週間行事実施報告について</p> <p>（3）市民向けリーフレット「糖尿病の専門家が「今」あなたに伝えたい3つのこと」の配布状況及び効果測定について</p> <p>（4）受動喫煙防止対策事業について</p> <p>（5）よこはまウォーキングポイント事業について</p> <p>（6）横浜を健康な“まち”にしよう 中高生夏休み作文コンクールについて</p> <p>5 その他</p> <p>第3期健康横浜21策定・推進スケジュールについて</p>
開 会	<p>（健康福祉局地域福祉保健部 樋田部長）</p> <p>ただいまより「令和5年度第2回 健康横浜21推進会議」を開催する。</p> <p>本日の会議について、公開とさせていただきますこと、および議事録作成のため、議事内容を録音させていただきますことについて、御了解いただきますようお願いする。</p> <p>定足数について御報告させていただく。この会議は、横浜市附属機関設置条例の規程に基づき、健康横浜21の推進及び評価・策定に関する事務を行う場である。</p> <p>当会議の委員総数は20名で、本日は16名の委員が出席している。健康横浜21推進会議運営要綱第6条第3項の規程に基づき、過半数を満たすため、本会議が成立していることを報告する。</p> <p>議事に先立ち、横浜市健康福祉局長の佐藤より御挨拶申し上げます。</p>
挨 拶	<p>（健康福祉局 佐藤局長）</p> <p>横浜市民の健康の推進に御尽力いただき感謝申し上げます。</p> <p>第3期健康横浜21の策定に向け、9月末から10月末にかけて、計画の素案に対するパブリックコメントを行い、171人の皆様から御意見をいただいた。10年前の第2期計画よりも、100人以上多くの方から御意見をいただいた。委員の皆様にも周知に</p>

	<p>御協力いただき改めて感謝申し上げます。</p> <p>若いうちからの健康づくりに力を入れていくなかで、30代、40代の方からの御意見も多くいただいたことは喜ばしい。特にこの計画の素案を知っていただきたい年代の方に、一定の関心を持っていただけたものと考えている。</p> <p>パブリックコメントでも「計画内容は良いけれども、周知が弱い」という御意見をいただいた。人からのみではなくAIからの情報も含め、正しい情報を見極めることが難しい時代である。特に健康に関しての情報はあふれており、見極めが必要となる。市民の皆様には正しい情報を基にして行動変容に繋げていただくため、必要な人に必要な情報が届くよう、プロモーションの強化に取り組んでいきたいと考える。</p> <p>自然と健康になれる環境づくりについても力をいれていく。7月にモデル的な取組で相鉄ローゼン様と「ハマの元気ごはん弁当」の販売を実施した。11月にも第2弾の取組を実施した。販売状況も含めた効果をしっかり発信していくことで、市域全体、さらには全国的に展開できるようになると良いと考える。</p> <p>昨日、この取組が厚生労働省の「健康寿命をのばそう！アワード」で賞をいただいた。この会議の議論を踏まえた取組が形になったものであると考える。</p> <p>委員の皆様からの御意見を取組に活かしていきたい、活発な議論をお願いしたい。</p>
<p>新委員紹介</p>	<p>(健康福祉局地域福祉保健部 樋田部長)</p> <p>名簿12番目 横浜市歯科医師会 二宮 (にのみや) 委員</p> <p>名簿16番目 全国健康保険協会神奈川支部 平手 (ひらて) 委員</p>
<p>議 事</p>	<p>【議事1】第3期健康横浜21素案に係るパブリックコメントの結果概要について 資料3</p> <p>【議事2】第3期健康横浜21素案から原案への主な変更点について 資料4-1、4-2、4-3 事務局から資料について説明</p> <p>(水谷会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定において、パブリックコメントや会議でいただいた御意見を基に内容を検討することは重要である。</li> <li>・資料4-2新規頁について。溺水のグラフについて、65歳以上のみの死亡数を記載するのはバランスが良くない。強調するところに色をつけてもわかりやすいのではないかと。</li> </ul> <p>(長谷川利希子委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントでも「稔りの世代」について意見があったが、評価策定部会でも「シルバーなどの表現が一般的であるのでは」等意見は出ていた。私としては、豊かなイメージが広がるので第2期計画から継続して「みのりの世代」を使用してほしいと意見を出していた。「みのりの世代」という表現を大切にしつつ、漢字についてはわかりやすい「実り」の表記となったことは良かったと思う。</li> </ul> <p>(二宮委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3のパブリックコメントについて、「取組を周知してほしい。」という意見に同感である。</li> </ul>

(西尾委員)

・ウォーキングポイントについて40代、50代が多く参加しているので、働き世代が関心をもっているのだと思った。パブリックコメントについて、職域ではどのような所に依頼したか。

(事務局)

・職域の団体に説明に行ったということはない。登録者が1200人程度居るメールマガジンで市内在勤者へ周知したことや、連携協定締結企業にも周知協力依頼をしたため、御意見をいただけたと思う。20～50代の御意見が半数以上を占めたので、働き世代にもある程度情報が届いたものと考えている。

(西尾委員)

・中小企業においても、健康への関心が高まっている。作成したリーフレットなどの情報発信することは反響があると思う。

(水谷会長)

・企業の産業保健師への情報提供も良い。

(瀬戸委員)

・SNSをもっと活用すると若い世代へも取組が周知できると考える。各区によって発信情報や発信状況に差がある。

(事務局)

・区によりSNS活用にはまだ差があると思うが、西区と港南区がDX推進のモデル区となっていることも影響しているかもしれない。受け取る側の立場に立って発信することを意識したい。

(水谷会長)

・若い人とはSNSの使い方に差があることも考えられるため、若い職員にも意見を聞いて対応することも良い。

(平手委員)

・協会けんぽ神奈川支部加入者の傾向をみると、飲酒、食習慣について課題がある。飲酒の部分については、計画の内容がまとまっている。飲酒と食事習慣の部分についてはセットにして取組や周知をしていくことが良いのではないか。就寝直前に食事や飲酒をする傾向にある。協会けんぽとしても今後、就寝前の食事環境について対策を打って出ること検討しているので、横浜市さんと一緒にやっていければと考えている。

(長谷委員)

・パブリックコメントの意見No. 118・119について。「禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議」から横浜市に申し入れをしているが、健康に関する部署と喫煙所の設置部署が違うため動きが悪い。駅の近くに壁を設置したのみの喫煙所は問題ではないか。藤沢市は人の集まる場所や動線から離れた場所に喫煙所を設けたり数を減らしたりしている。部署の垣根を越えた対応を希望する。

(田口副会長)

・評価策定部会にも参加している立場でコメントする。同意する意見が散見される

ため、概ね合意されていると考えられる。パブリックコメントの意見を踏まえて表現のわかりやすさが改善されていると考える。計画は市民にいか理解してもらい推進していただけるかが重要なため、わかりやすさは大変重要。健康課題を身近なものとして捉えてもらえることも重要である。「腰痛」については評価策定部会でも議論があったが、市民が身近に感じる表現となっており、良かったと思う。

・素案 177 ページについて、取組とテーマの関連性の図について、評価を明確にすることは難しいが、丁寧に整理しているため、更に次期計画を立てる際に役立つと考えられる。

(水谷会長)

・資料 4-3 の概要版について、単体で見ただけで内容が理解できるものとなる必要がある。例えば飲酒について、どの様な量が生活習慣病のリスクを高めるのか書いてあるとよい。暮らしの備えについて、目標や取組の内容につながるように、関連のある主な指標を記載すると良い。

事務局において更なる修正が必要な場合が生じた際には、会長に一任いただくということで、原案につきまして、御了承いただくことでよろしいか。

(一同)

了承

### 【議事 3】健康横浜 2 1 のロゴマーク及びキャッチフレーズについて

資料 5

事務局から資料について説明

(長谷川由希委員)

・デザイン A 案が良いと考えた。キャッチフレーズについて字体をおしゃれにするとイメージが変わるので、色々試すとよい。

(事務局)

・御意見を参考にする。

(齊藤委員)

・A 案のロゴの黄色には意味があるか。

(事務局)

・波や人をイメージしたロゴとなっている。波の青や健康横浜 2 1 のイメージカラーである緑色を掛け合わせたものとなっていると考えられる。デザイン上黄色となっているが、黄色自体には特に大きな意味はない。

(水谷会長)

・人の顔の部分が黄色であると見えづらい印象がある。

健康横浜 2 1 のロゴマーク及びキャッチフレーズについて、御了承いただくことでよろしいか。

(一同)

了承

報告事項	<p>【報告事項1】令和5年度食環境づくりに関する取組について 資料6 事務局から資料について説明</p>
	<p>(水谷会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取組に御尽力いただいた、日本チェーンストア協会相鉄ローゼン吉田委員、補足説明や感想はあるか。</li> </ul> <p>(吉田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市と基準を設けた弁当の販売を行った。</li> <li>第1弾は30代から50代の男性をターゲットとして誰もが自然と健康になれる弁当を販売した。</li> <li>第2弾の11月は女性や高齢者向けとした。野菜たっぷりであることは継続した。</li> <li>今回の取組が横浜市の様々な店舗に拡がると良いと思う。有意義な取組をしたと考えている。</li> </ul> <p>(長谷川利希子委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>良い取組であり売り上げが良かったことも良かった。</li> <li>誰もが自然と健康になれる環境づくりには、中食や外食で健康になれる食事を提供できることが肝となる。</li> <li>廃棄も少なかったということで、フードロス対策にもなっていることが重要であり推進してほしい。</li> </ul> <p>(水谷会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>店舗ごとに客構成は違うか。</li> </ul> <p>(吉田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>店舗により客構成は違う。駅に近い所や大型店舗などでも違う。それを踏まえ手に取りやすくなるように対応した。</li> </ul> <p>(水谷会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本人が満足しながら健康を考えることができることは良い。協力して推進できるとよい。</li> </ul> <p>(二宮委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在は相鉄ローゼンのみの点だが、色々な店舗が参加して面となるようにしていただきたい。</li> <li>自然と健康になれる環境づくりのために、この取組をブランディング化した方が良いと考える。例えば、厚生労働省のトクホや、浜なし、ADA（アメリカ歯科医師会）はブランディングされているため、名前が書いてあるだけで売れ行きが違う。横浜市で認定制度などをつくり、ブランディングを進めると良い。それで市民に買われる、その結果市民が変わることができるという。</li> </ul> <p>(長谷川由希委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弁当の容器は環境に良いなどに対応しているか。</li> </ul> <p>(吉田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状はそこまでは対応していない。</li> </ul>

	<p>(長谷川由希委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今はSDGsなどが注目されており、環境を意識して商品を選ぶ人もいるため、値段とのバランスはあると思うが、選ぶ側としては、選択の参考となると思う。</li> </ul> <p>(吉田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買われる方の協力を得ながら容器やソースのプラスチックなどについても考えていきたい。</li> </ul>
	<p><b>【報告事項2】</b> 令和5年度歯と口の健康週間行事実施報告について 資料6 事務局から資料について説明</p>
	<p>(二宮委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WEBであると一方通行になりがちであるため、市民と対話ができる行事になるとよい。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市と歯科医師会の共催で実施している。話し合いを行いながら今後の方法などを検討していく。</li> </ul>
	<p><b>【報告事項3】</b> 市民向けリーフレット「糖尿病の専門家が「今」あなたに伝えたい3つのこと」の配布状況及び効果測定について 資料8 事務局から資料について説明</p>
	<p>(瀬戸委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市糖尿病重症化予防ネットワーク検討会作業部会でリーフレットの作成に携わった。ピクトグラムを使用するなど、伝わりやすさを重視した。表面は受診勧奨、裏面は合併症の怖さ、眼や歯周病との関連などを伝える内容となっている。</li> <li>・会員薬局1000軒を通じて10000部配布した。一般薬品や日用品を買い物する方などの中で、糖尿病が疑わしい方には配布した。各区でも他職種で連携して重症化予防に取り組んでいる。薬剤師会としても注力していきたい。本会議の委員内でも連携できる事業と考えられるため協力をお願いする。</li> </ul> <p>(水谷会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットはホームページにも掲載があるか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲載している。</li> </ul> <p>(水谷会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職域の会社などにホームページ等を紹介してリーフレット等を活用してもらうことも良いのではないか。</li> </ul> <p>(二宮委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病重症化予防ネットワークは、今年度から摂食嚥下・緩和ケア・心疾患なども含め事業として、歯科医師会も対応している。</li> <li>・よこはま保健医療プランの素案を見ると2024年度でこの糖尿病に関しては6区の</li> </ul>

	<p>実施で、2029年度に18区で実施となっている。6年後に全て実施することとなっている。区で差が出ないように市のリーフレットも活用し、市としての取組も進めてほしい。</p>
	<p><b>【報告事項4】受動喫煙防止対策事業について</b> 資料9 事務局から資料について説明</p>
	<p>(長谷委員) ・受動喫煙防止のルールを守らない飲食店への対応がされていないと、ルールがあやふやになってしまう。ルールを守るための取組が必要。神奈川県条例を推進する取組を依頼する。</p> <p>(水谷会長) ・チャンピックスの流通状況はどうか。</p> <p>(瀬戸委員) ・まだ流通が再開されていないため、禁煙外来はニコチンパッチを使用しているところもあるが数が減っている。</p> <p>・薬局でのニコチンガムの活用をしてもらうこともできる。</p> <p>(米山委員) ・動画での啓発のみか。</p> <p>(事務局) ・様々な媒体を使用してタイミングを見て啓発している。</p> <p>(米山委員) ・近隣からの煙などに困ることがある。より多くの市民に伝わる啓発をお願いしたい。</p>
	<p><b>【報告事項5】よこはまウォーキングポイント事業について</b> 資料10 事務局から資料について説明</p>
	<p>(田口副会長) ・ウォーキングポイントの事業選定委員を務めている。その場で、アプリが普及しており、歩数計の利用者が減少しているため、今後どのようにしていくかという話題が出た。糖尿病の新規発症や重症化予防への効果が出ていることは素晴らしいことであり、これを情報発信するとよい。</p> <p>・パブリックコメントでもマンネリ化しないようにすると良いという御意見があったため、景品なども企業の協力を得て推進していけると良いと考える。</p> <p>(水谷会長) ・個人的には医療機関がスポットであるといいと考えている。患者さんが歩いている状況などが分かるのも良いと思う。</p>
	<p><b>【報告事項6】横浜を健康な“まち”にしよう 中高生夏休み作文コンクールについて</b> 資料11</p>

	<p>事務局から資料について説明</p> <p>(水谷会長) 保護者の立場から木宮委員どうか</p> <p>(木宮委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰作品はどれも素晴らしかった。最優秀賞作品について、横浜市には坂が多いことや広い公園や競技場があることに着目して、それを活かした健康づくりができるのではないかと提案していた。運動と死亡リスクについての関係性も記載されていた。坂を上ることを楽しめる標記の設置や様々な年代に合わせたイベントの開催、商店街を巻き込んだイベントの開催などで商業の活発化や学生のボランティアを募っても良いのではないのかと考えられていた。</li> <li>・健康に関する根拠がはっきりしていることや経済的な面まで考えられていることなど素晴らしいと感じた。アイデアをアイデアで終わらせず、少しでも実現してもらえると良い。取組を考える際に子どもたちも参加して一緒に考えていくとより発想豊かなものになるのではないかと。</li> </ul> <p>(水谷会長) 全体を通しての意見はあるか。</p> <p>(一同) 無し。</p> <p>以上で議事を終了とする。進行を事務局に返す。</p>
<p>その他</p>	<p>【その他】第3期計画策定スケジュールについて 資料12 事務局から資料について説明</p> <p>閉会 (事務局) 次回は令和6年4月頃を予定する。改めて調整する。 これにて閉会とする。</p>
<p>資料</p>	<p>資料1 健康横浜21推進会議 委員名簿 資料2 健康横浜21推進会議運営要綱 資料3 第3期健康横浜21素案に係るパブリックコメントの結果概要について 資料4-1 第3期健康横浜21素案から原案への主な変更点 資料4-2 第3期健康横浜21原案(案)素案からの主な変更点抜粋 資料4-3 第3期健康横浜21原案の概要(案) 資料5 健康横浜21のロゴマーク及びキャッチフレーズについて 資料6 令和5年度食環境づくりに関する取組について 資料7 令和5年度 歯と口の健康週間行事実施報告 資料8 市民向けリーフレット「糖尿病の専門家が「今」あなたに伝えたい3つのこと」の配布状況及び効果測定について</p>



資料 9	受動喫煙防止対策事業について
資料 10	よこはまウォーキングポイント事業について
資料 11	横浜を健康な“まち”にしよう 中高生夏休み作文コンクールについて
資料 12	第3期健康横浜21策定・推進スケジュール（予定）